

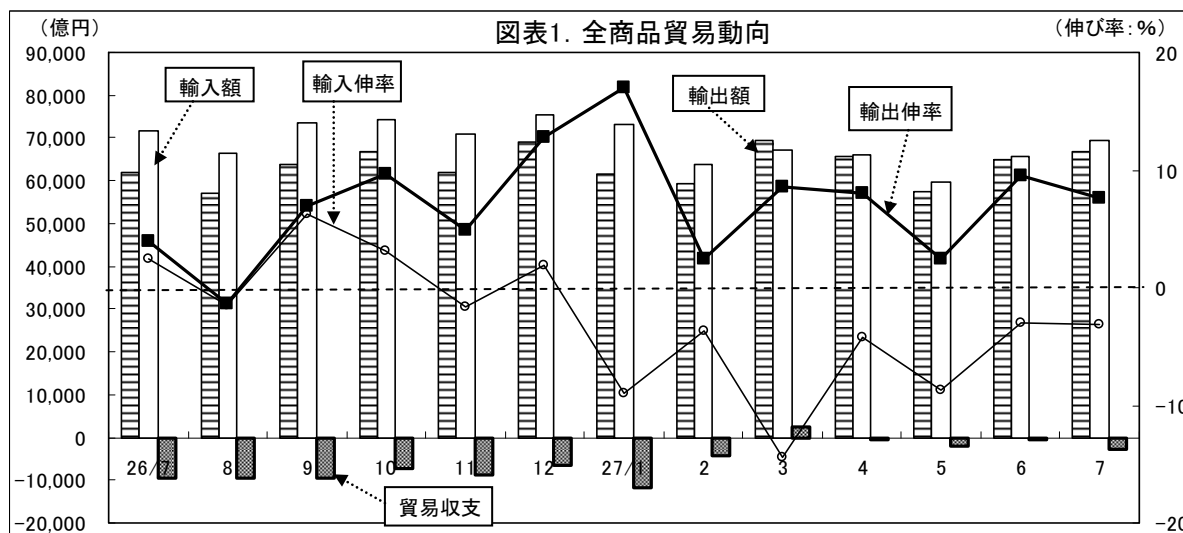
最近の機械貿易動向(7月)～機械輸出伸び率 11ヶ月連続でプラス～

日本機械輸出組合 2015.9.17.

平成 27 年 7 月の機械輸出額は 4 兆 3,621 億円、対前年同月比 9.1%増と、11ヶ月連続でプラス成長となった。これは、①対ドルで円安傾向が続いていること、②自動車、産業機械、電子デバイス等が大幅にプラスになったことなどによる。為替要因が 11.2%の増加要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は 1.9%減と 2ヶ月連続でマイナスとなった。8月の為替要因は 11.6%の増加寄与要因となっているが、9月 17 日発表の貿易統計速報による簡易計算では 8 月の機械輸出は 3.3%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は 11ヶ月連続でプラス～

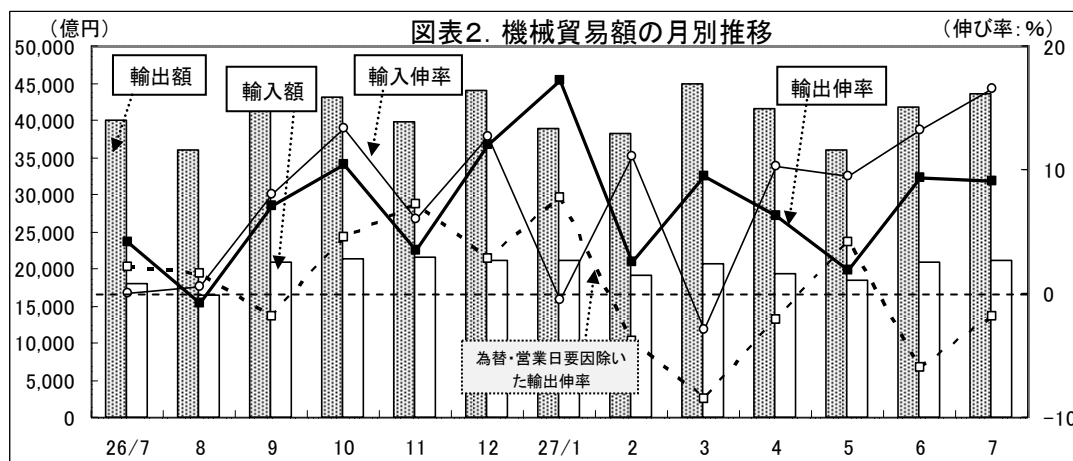
- 1) 平成 27 年 7 月の全商品輸出額は **6 兆 6,637 億円**、前年同月比(以下同じ)**7.6%増**と 11ヶ月連続でプラス成長となった(6月 9.5%増)。これは、全輸出額の約 25%を占める自動車等輸送用機器(10.4%増)や、19%の一般機械(8.3%増)、18%の電気機器 (10.5%増)等が大きく増加したためである。
- 2) 輸入額は **6 兆 9,321 億円**、**3.2%減**と 7ヶ月連続でマイナスとなった(6月 2.9%減)。これは、全輸入額の約 15%を占める電気機器(24.6%増)、9%の一般機械(9.6%増)、11%の医薬品当化学製品(19.7%増)は増加したものの、約 24%を占める原油等鉱物性燃料(28.9%減)が原油価格下落で大幅に減少したことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、2,684 億円の赤字となった (6月は 690 億円の赤字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は 11ヶ月連続、輸入も 4ヶ月連続でプラス～

- 1) 全商品輸出額の約 65%を占める 7 月の機械輸出額は **4 兆 3,621 億円**、**9.1%増**と 11ヶ月連続で拡大し(6月 9.4%増)、輸出額の水準は、リーマンショック前(2008 年 7 月)と比べると **86.7%**となり、前月に比べて 0.7 ポイント悪化した(6月 87.4%)。
- 2) 一方、全商品輸入額の約 30%を占める機械輸入額は、**2 兆 1,003 億円**、**16.5%増**と 4ヶ月連続でプラスとなった(6月 13.2%増)。リーマンショック前(2008 年 7 月)の水準と比較しても 27.0%増となっている。

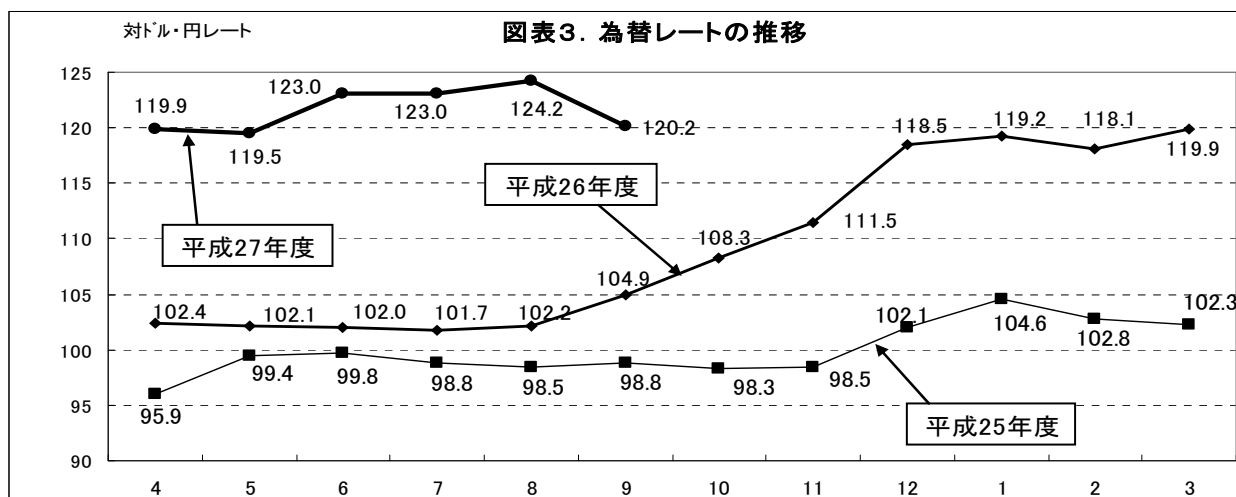


(2) 為替動向・営業日～7月は11.2%の増加要因、8月は約11.6%の増加要因～

1) 7月は1ドル＝123.0円となり、前年に比べ20.9%の円安となった。また、対ユーロは137.2円と前年に対して0.9%の円高となり、合わせて約11.2%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で11.2%の増加要因となる。7月の輸出額は9.1%増であったことから、実質的伸び率は1.9%減と2ヶ月連続でマイナスとなった(6月6.0%減)。

2) 8月は1ドル＝124.2円で前年比21.5%の円安、対ユーロでは136.4円で前年比0.5%の円高となり、合わせて約11.6%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約11.6%の増加要因となる。

3) 9月は、対ドルが9月16日17:00時点の120.2円とすれば、前年に比べて14.6%の円安、また、対ユーロは135.4円で1.5%の円高となり、合わせると約7.8%の為替増加要因となる。営業日は前年より1日少ないため、5.0%の減少要因となり、合計で約2.4%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～韓国・台湾、北米、EU 向けが二桁成長の一方、その他地域向けがマイナス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、最も伸びたのが、①9.6%を占める韓国・台湾向けで、産業機械(43.9%増)、電子デバイス(19.1%増)、軽電気機械(22.7%増)等が大幅に増加して19.8%増となった。②次に伸びたのは、25.7%を占める最大輸出先の北米向けで、全体の52%を占める自動車(23.1%増)をはじめ、航空機部品(23.1%増)、民生用電子機械(50.5%増)等が増加して18.0%増となり、③11.7%のEU向けでは、35%を占める自動車(12.9%増)や17%を占める産業機械(7.6%増)、軽機械(20.4%増)等がプラスとなって、11.4%増となった。④14.5%のASEAN・南アジア向けは、インドネシア(14.3%減)等が大きく減少したものの、ベトナム(29.5%増)、インド(13.1%増)、パキスタン(20.1%増)等が大幅なプラスとなり、業種では、全体の27%を占める自動車(11.8%増)に加え、電子デバイス(7.8%増)、軽電気機械(12.4%増)等が増加して5.2%増となり、⑤20.9%の中国向けは、全体の16%を占める自動車(7.7%減)が減少したものの、19%を占める産業機械(12.6%増)や電子デバイス(8.3%増)等が増加して5.0%増となった。

2) 他方、減少したのは、17.6%を占めるその他地域向けで、大洋州(30.9%増)向けが大きくプラスとなったものの、ロシア東欧等(31.4%減)、アフリカ(25.0%減)向けが大幅に減少し、機種では船舶(40.1%増)がプラスとなったものの、58%を占める自動車(6.0%減)や建設機械(25.0%減)等が大きく減少して0.5%減となった。

3) また、リーマンショック前の2008年7月の地域別輸出額と比較すると、北米向けが100%を超えたものの、ASEAN・南アジア、中国、韓国・台湾向けが90%台、その他地域、EU向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2015/5			2015/6			2015/7			対08年 7月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	36,051	1.9	100.0	41,827	9.4	100.0	43,621	9.1	100.0	0.87
北米	8,949	7.3	24.8	10,813	16.4	25.9	11,225	18.0	25.7	1.01
中国	7,956	0.8	22.1	8,855	9.2	21.2	9,110	5.0	20.9	0.98
ASEAN・南アジア	5,527	4.1	15.3	6,257	5.6	15.0	6,314	5.2	14.5	0.99
EU	4,057	▲ 2.5	11.3	4,657	8.9	11.1	5,088	11.4	11.7	0.66
韓国・台湾	3,769	12.9	10.5	4,289	23.9	10.3	4,195	19.8	9.6	0.92
その他	5,793	▲ 8.5	16.1	6,956	▲ 3.2		7,689	▲ 0.5	17.6	0.69

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2015/4		2015/5		2015/6		2015/7	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,021	11.1	1,796	4.1	2,067	20.8	2,006	19.5
台湾	1,858	2.3	1,973	22.3	2,222	26.9	2,188	20.0
ASEAN・南アジア								
タイ	1,566	▲ 2.5	1,410	▲ 7.0	1,605	▲ 0.4	1,775	8.9
シンガポール	1,024	16.5	884	17.3	1,073	9.9	886	▲ 7.0
インドネシア	776	▲ 14.9	630	▲ 12.3	633	▲ 27.4	701	▲ 14.3
マレーシア	764	4.6	629	▲ 6.9	733	▲ 0.7	776	6.3
フィリピン	626	3.3	622	21.0	658	11.9	620	3.4
ベトナム	846	94.2	617	34.5	670	50.1	675	29.5
インド	442	42.3	353	4.9	406	17.2	421	13.1
パキスタン	133	20.6	111	▲ 6.4	126	16.3	136	20.1
その他地域								
中南米	2,465	8.2	1,923	▲ 7.5	2,048	▲ 15.3	2,390	3.7
中近東	2,140	6.5	1,533	▲ 6.8	2,188	22.3	2,172	5.0
大洋州	1,132	1.6	1,082	18.6	1,283	18.7	1,646	30.9
ロシア東欧等	1,054	▲ 14.2	696	▲ 34.1	782	▲ 32.9	845	▲ 31.4
アフリカ	655	0.3	551	▲ 7.4	668	9.8	651	▲ 25.0

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～21 業種中マイナスは 3 業種、電子デバイス等 8 業種が二桁以上の伸び～

- 1) 業種別では、全 21 業種中 3 業種がマイナスとなり、前月より 4 業種減少した。業種では、全体の約 36%を占める自動車(7.4%増)が 2 ヶ月連続、17%の産業機械(13.1%増)が 11 ヶ月連続、8%の電子デバイス(9.0%増)が 12 ヶ月連続のプラスとなり、この他、民生用電子機械(20.7%増)、船舶(30.1%増)、航空機部品(23.6%増)、通信機械(27.5%増)、電子計算機(13.4%増)、医療機械(10.6%増)、鉄道車両(2.1倍)が二桁以上の成長となって、機械全体で 9.1%増となった。
- 2) この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、鉄道車両、軽機械、ベアリング、医療機械、工作機械、繊維機械、光学機械の 8 業種で前月より 1 業種増加し、他方、電子計算機、産業車両が 40%台、民生用電子機械、建設機械が 50%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2015/5				2015/6				2015/7				対08/7 比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	11,365	▲ 0.7	31.5	自動車	15,000	12.2	35.9	自動車	15,555	7.4	35.7	0.88
産業機械	6,531	2.8	18.1	産業機械	7,128	12.4	17.0	産業機械	7,309	13.1	16.8	0.90
電子デバイス	3,163	11.8	8.8	電子デバイス	3,307	15.1	7.9	電子デバイス	3,401	9.0	7.8	0.77
軽電気機械	1,956	3.8	5.4	軽電気機械	2,085	7.8	5.0	軽電気機械	2,259	9.9	5.2	0.88
重電気機械	1,808	▲ 5.5	5.0	重電気機械	2,000	6.1	4.8	重電気機械	2,103	1.5	4.8	0.89
民生用電子機械	1,466	3.4	4.1	軽機械	1,654	10.1	4.0	民生用電子機械	1,762	20.7	4.0	0.55
軽機械	1,462	0.7	4.1	民生用電子機械	1,584	11.9	3.8	船舶	1,756	30.1	4.0	0.99
船舶	1,362	20.3	3.8	光学機械	1,358	▲ 2.9	3.2	軽機械	1,734	9.3	4.0	1.26
光学機械	1,298	▲ 5.3	3.6	船舶	1,296	▲ 6.8	3.1	光学機械	1,371	▲ 7.4	3.1	1.01
建設機械	863	▲ 1.4	2.4	建設機械	1,070	5.0	2.6	工作機械	963	▲ 3.1	2.2	1.06
工作機械	817	▲ 2.8	2.3	工作機械	989	▲ 0.4	2.4	建設機械	944	▲ 3.7	2.2	0.596
航空機部品	757	14.7	2.1	航空機部品	868	23.0	2.1	航空機部品	853	23.6	2.0	2.28
通信機械	576	12.4	1.6	通信機械	593	21.7	1.4	通信機械	585	27.5	1.3	0.69
電子計算機	415	2.7	1.2	電子計算機	461	0.2	1.1	電子計算機	463	13.4	1.1	0.47
ベアリング	395	3.5	1.1	医療機械	449	9.7	1.1	ベアリング	449	7.4	1.0	1.15
医療機械	388	2.3	1.1	ベアリング	432	8.1	1.0	医療機械	448	10.6	1.0	1.07
陸用内燃機関	349	2.4	1.0	陸用内燃機関	339	▲ 5.3	0.8	陸用内燃機関	393	7.1	0.9	0.91
繊維機械	179	▲ 17.7	0.5	繊維機械	177	▲ 15.6	0.4	農業機械	201	5.1	0.5	0.98
農業機械	169	▲ 6.2	0.5	農業機械	168	▲ 19.3	0.4	繊維機械	188	4.9	0.4	1.05
産業車両	108	▲ 13.9	0.3	産業車両	131	▲ 2.5	0.3	産業車両	131	1.2	0.3	0.4998
鉄道車両	39	▲ 18.0	0.1	鉄道車両	112	182.7	0.3	鉄道車両	114	105.0	0.3	1.42
21業種合計	35,468		98.4	21業種合計	41,201		98.5	21業種合計	42,981		98.5	0.87

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器

・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5)機種別動向～鉄道車両、半導体製造装置等が大幅のプラス、金属加工機械等が大幅減～

1)10%以上の伸び率を示した機種は、①EU、中国向け**鉄道車両**(2.1 倍)、②韓国・台湾、中国、北米向け**半導体製造装置**(55.9%増)、③中国向け**通信機械部分品**(44.9%増)、④北米向け**発電機**(39.6%増)、⑤その他地域向け**船舶**(30.1%増)、⑥中国、EU、北米向け**産業用ロボット**(28.1%増)、⑦中国、北米向け**デジカメ・ビデオ**(27.7%増)、⑧EU、北米、中国向け**印刷・製本機**(24.8%増)、⑨北米、EU 向け **TV**(24.6%増)、⑩北米向け**航空機部品**(23.6%増)であった。

2)一方、最も落込み幅が大きいのが、金属加工機械(21.9%減)、その他の重電気機器・部分品(13.2%減)等であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2015/5			2015/6			2015/7		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
通信機械部分品	288	33.4	鉄道車両	112	182.7	鉄道車両	114	105.0
TV	104	26.0	通信機械部分品	278	55.6	半導体製造装置	1,391	55.9
船舶	1,362	20.3	半導体製造装置	1,439	45.3	通信機械部分品	252	44.9
半導体製造装置	1,190	17.6	発電機	116	24.3	発電機	117	39.6
風水力機械	742	15.5	航空機部品	868	23.0	船舶	1,756	30.1
航空機部品	757	14.7	風水力機械	829	22.7	産業用ロボット	168	28.1
電子デバイス	3,163	11.8	デジカメ・ビデオ	430	18.9	デジカメ・ビデオ	465	27.7
電池	211	11.7	乗用車	9,216	16.6	印刷・製本機械	1,023	24.8
産業用ロボット	139	11.4	電子デバイス	3,307	15.1	TV	120	24.6
配電機器	478	10.9	電動機	162	14.8	航空機部品	853	23.6
機種合計	8,434	* 23.4%	機種合計	16,757	* 40.1%	機種合計	6,259	* 14.3%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品: ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信: ルーター、LANスイッチ等

理化学用機器: 物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機: 業務用モーター

その他の光学機器: レーザー、半導体検査装置等 その他の重電気機器・部分品: 重電機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2015/5			2015/6			2015/7		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	39	▲ 18.0	農業機械	168	▲ 19.3	金属加工機械	276	▲ 21.9
繊維機械	179	▲ 17.7	繊維機械	177	▲ 15.6	その他の重電気機器・部分品	491	▲ 13.2
白物家電	255	▲ 17.1	機種合計	345	* 0.8%	機種合計	767	* 1.8%
その他の重電気機器・部分品	451	▲ 15.2						
産業車両	108	▲ 13.9						
デジカメ・ビデオ	346	▲ 10.9						
発電機	97	▲ 10.0						
機種合計	1,475	* 4.1%						

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6)機械輸入動向～携帯電話、航空機・部品、電子デバイス等が大幅増～

1)7 月の機械輸入伸び率は 16.5%増と 4 ヶ月連続でプラスとなった。輸入上位機種の電子デバイス(20.2%増)、電子計算機(7.6%増)に加え、携帯電話(3.3 倍)や航空機・部品等(26.0%増)、自動車部品(11.3%増)が大きくプラスとなったことによる。

2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、白物家電、医療機械、受信変換・その他送受信、配電機器、時計、通信機械部分品、TVとなっている。

3)地域別機械輸入額は、全体の 40%を占める中国(20.0%増)、ASEAN・南アジア(11.3%増)、北米(24.2%増)、韓国・台湾(15.8 増)、EU(11.4%増)、その他地域(21.1 増)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2015/5				2015/6				2015/7			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,174	0.5	11.7	電子デバイス	2,510	9.5	12.0	電子デバイス	2,626	20.2	12.5
電子計算機	1,661	▲ 9.2	9.0	電子計算機	1,948	3.5	9.3	電子計算機	1,974	7.6	9.4
携帯電話	1,238	123.3	6.7	航空機・部品等	1,338	54.9	6.4	携帯電話	1,207	232.8	5.7
航空機・部品等	1,060	44.2	5.7	携帯電話	1,203	16.4	5.8	航空機・部品等	1,196	26.0	5.7
自動車部品	1,005	1.4	5.4	自動車部品	1,141	11.3	5.5	自動車部品	1,182	11.3	5.6
白物家電	819	▲ 2.3	4.4	白物家電	966	6.6	4.6	乗用車	840	0.4	4.0
乗用車	800	14.4	4.3	乗用車	865	23.8	4.1	白物家電	804	▲ 2.2	3.8
医療機械	540	8.3	2.9	医療機械	623	7.5	3.0	医療機械	647	8.5	3.1
配電機器	494	3.4	2.7	配電機器	579	9.2	2.8	受信変換その他送受信	590	18.5	2.8
受信変換その他送受信	484	6.1	2.6	受信変換その他送受信	573	7.9	2.7	配電機器	581	11.6	2.8
半導体製造装置	388	464.1	2.1	その他の配電制御装置	409	15.3	2.0	その他の配電制御装置	412	20.5	2.0
その他の配電制御装置	376	9.6	2.0	風水力機械	388	18.3	1.9	コンデンサー等部分品	396	6.0	1.9
12機種合計	11,039		59.5	12機種合計	12,543		60.1	12機種合計	12,455		59.3

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械

・受信変換その他送受信: ルーター、LANスイッチ等 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等